

平成26年4月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年11月29日

上場会社名 東和フードサービス株式会社
 コード番号 3329 URL <http://www.towafood-net.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 経理財務グループ次長
 四半期報告書提出予定日 平成25年12月13日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 岸野 禎則
 (氏名) 石塚 実
 配当支払開始予定日

TEL 03-5843-7666
 平成25年12月20日

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年4月期第2四半期の業績(平成25年5月1日～平成25年10月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年4月期第2四半期	4,964	1.4	228	△20.3	226	△17.5	128	△8.5
25年4月期第2四半期	4,896	△0.2	286	12.0	275	12.8	140	19.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年4月期第2四半期	62.95	—
25年4月期第2四半期	68.79	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年4月期第2四半期	7,086		4,098			57.8
25年4月期	7,177		3,999			55.7

(参考) 自己資本 26年4月期第2四半期 4,098百万円 25年4月期 3,999百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年4月期	—	10.00	—	15.00	25.00
26年4月期	—	10.00	—	—	—
26年4月期(予想)	—	—	—	15.00	25.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年4月期の業績予想(平成25年5月1日～平成26年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,300	3.4	643	3.9	651	6.9	366	13.0	179.58

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注) 詳細は、添付資料P5「サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年4月期2Q	2,046,600 株	25年4月期	2,046,600 株
26年4月期2Q	8,571 株	25年4月期	8,571 株
26年4月期2Q	2,038,029 株	25年4月期2Q	2,038,110 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P4「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期財務諸表	6
(1) 四半期貸借対照表	6
(2) 四半期損益計算書	8
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における外食業界は、安倍政権が誕生して1年弱経過し、デフレ円高に一定の歯止めがかかったことにより、個人消費意欲の改善が見られるものの、夏の猛暑、9、10月の大型台風により卵・鶏肉等の価格高騰と、円安による輸入価格の上昇やエネルギーコストの上昇、また来年4月の消費税増税による生活防衛意識も高まり、引き続き厳しい経営環境で推移いたしました。

このような状況のもと、当社は「客数回復、ファンづくり、粗利の経営」を最重要課題として、コンセプトの「あったら楽しい」店づくり、「手の届く贅沢」の提供を具現化するため、以下の諸施策に取り組んでまいりました。

まず、高付加価値経営に重点を置いた個店経営を展開いたしました。高級喫茶「椿屋」を冠する「椿屋ブランディング計画」を引き続き推進、平成25年9月にJR蒲田駅グランデュオ蒲田西館に「椿屋」27店舗目の「椿屋カフェグランデュオ蒲田店」を新規出店致しました。

また、同じく9月には、JR立川駅グランデュオ立川の「銀座ココット」をパスタとケーキで楽しい食事性をより高めた「立川ダッキーダックキッチン」に、改称リニューアルしました。このほか、8月に「有楽町カフェトバコ」をリニューアル、9月に「椿屋珈琲店池袋茶寮」を増床オープン致しました。

なお、11月には、川崎地区としてはカフェカンパニー3店舗目となる「カフェココナツ川崎ダイス店」をオープン、一体運営の確立を推進しております。

また、同じく11月には、東武百貨店船橋店に、創作焼きものや「船橋こてがえし」を出店、江戸時代の船橋宿を表現した内装や船橋市場より仕入れた旬な食材を使用した豊富なメニューを揃え、お好み焼き・鉄板焼きの専門店として、共食の楽しさを味わっていただいております。更に、同じ東武百貨店船橋店の「ダッキーダック」を食事性をより高めた「船橋東武ダッキーダックキッチン」に改称リニューアルしています。

メニュー・販売促進面では、「業態開発グループ」を中心にメニュー開発部門と連携した新メニューの開発、フードコーディネーターによる、店頭で足が止まり、目で見ると楽しさ、美しさ、味わう美味しさにつながるポスターの制作、メニューブックの制作など、スピーディーな販売促進体制を構築してまいりました。今後も11月に発足した開発部を中心に、スピード化と効率化を推進し、「客数回復、ファンづくり、粗利の経営」に努めてまいります。

接客サービス面では、引き続き「ありがとうコール運動」を実施し、ホスピタリティある接客サービスの向上に努めてまいりました。

以上の結果、第2四半期累計期間の売上高は49億64百万円（前年同期比1.4%増）となりましたが、客数確保のための積極的な新メニューの投入やエネルギーコストの上昇、原材料の大幅値上げ等により、営業利益は2億28百万円（同20.3%減）、経常利益は2億26百万円（同17.5%減）、四半期純利益は1億28百万円（同8.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期会計期間における流動資産は、前事業年度末に比べて1億円減少し、24億23百万円となりました。これは、現金及び預金が79百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前事業年度末に比べて9百万円増加し、46億62百万円となりました。

この結果、総資産は、前事業年度に比べて91百万円減少し、70億86百万円となりました。

(負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債は、前事業年度末に比べて29百万円減少し、13億13百万円となりました。

固定負債は、前事業年度末に比べて1億60百万円減少し、16億74百万円となりました。これは、長期借入金が1億5百万円、社債が45百万円、それぞれ減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べて1億90百万円減少し、29億88百万円となりました。

(純資産)

当第2四半期会計期間における純資産合計は、前事業年度末に比べて98百万円増加し、40億98百万円となりました。これは、利益剰余金が97百万円増加したことなどによります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、19億26百万円で前事業年度末に比較して79百万円減少しました。

各キャッシュ・フローの状況と主な内容は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、4億43百万円（前年同期は2億2百万円の収入）となりました。これは主に、減価償却費が2億24百万円、税引前四半期純利益が2億22百万円あったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、2億16百万円（前年同期は21百万円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出が2億6百万円あったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、3億7百万円（前年同期は2億35百万円の支出）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出が1億48百万円、リース債務の返済による支出が83百万円あったこと等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年5月30日に公表いたしました、平成26年4月期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効性率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年4月30日)	当第2四半期会計期間 (平成25年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,006,029	1,926,240
売掛金	62,410	66,625
S C 預け金	198,273	192,503
商品及び製品	23,776	25,494
原材料及び貯蔵品	79,910	72,005
前払費用	103,739	99,233
繰延税金資産	24,871	24,871
その他	25,473	16,954
貸倒引当金	△440	△413
流動資産合計	2,524,044	2,423,515
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	885,888	888,773
工具、器具及び備品(純額)	103,582	113,593
土地	1,118,599	1,118,599
リース資産(純額)	365,807	362,623
その他(純額)	8,495	2,748
有形固定資産合計	2,482,373	2,486,337
無形固定資産		
投資その他の資産	16,334	14,019
長期前払費用	17,377	14,865
繰延税金資産	147,045	146,530
差入保証金	503,045	497,194
敷金	1,461,541	1,478,798
その他	26,103	25,101
貸倒引当金	△2	△1
投資その他の資産合計	2,155,111	2,162,488
固定資産合計	4,653,819	4,662,845
資産合計	7,177,863	7,086,361

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年4月30日)	当第2四半期会計期間 (平成25年10月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	227,125	228,925
1年内返済予定の長期借入金	271,392	229,158
1年内償還予定の社債	90,000	90,000
リース債務	146,582	145,766
未払金	340,945	283,769
未払賞与	112,465	110,784
未払費用	68,704	58,600
未払法人税等	25,996	106,717
未払消費税等	36,917	43,322
預り金	14,800	14,227
資産除去債務	5,892	—
リース資産減損勘定	262	142
その他	2,045	2,045
流動負債合計	1,343,131	1,313,460
固定負債		
社債	460,000	415,000
長期借入金	734,934	628,938
リース債務	261,372	253,385
退職給付引当金	265,872	262,861
資産除去債務	92,092	93,643
長期リース資産減損勘定	60	8
その他	20,984	20,984
固定負債合計	1,835,317	1,674,822
負債合計	3,178,448	2,988,283
純資産の部		
株主資本		
資本金	673,341	673,341
資本剰余金	683,009	683,009
利益剰余金	2,660,031	2,757,765
自己株式	△19,052	△19,052
株主資本合計	3,997,328	4,095,062
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,086	3,015
評価・換算差額等合計	2,086	3,015
純資産合計	3,999,414	4,098,077
負債純資産合計	7,177,863	7,086,361

(2) 四半期損益計算書
第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年5月1日 至平成24年10月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年5月1日 至平成25年10月31日)
売上高	4,896,567	4,964,430
売上原価	1,293,037	1,349,551
売上総利益	3,603,529	3,614,879
販売費及び一般管理費	3,316,820	3,386,314
営業利益	286,709	228,565
営業外収益		
受取利息	283	118
受取配当金	343	359
受取家賃	11,910	11,810
広告料収入	3,600	3,600
その他	3,569	2,069
営業外収益合計	19,707	17,957
営業外費用		
支払利息	21,318	15,985
不動産賃貸原価	1,368	1,277
その他	8,431	2,265
営業外費用合計	31,118	19,529
経常利益	275,298	226,993
特別損失		
固定資産除却損	10,356	4,262
減損損失	13,771	—
特別損失合計	24,128	4,262
税引前四半期純利益	251,169	222,731
法人税等	110,963	94,427
四半期純利益	140,206	128,304

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年5月1日 至平成24年10月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年5月1日 至平成25年10月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	251,169	222,731
減価償却費	217,286	224,992
減損損失	13,771	—
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△11,474	△3,010
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△93	△27
受取利息及び受取配当金	△626	△477
支払利息	21,318	15,985
社債発行費	5,076	—
固定資産除却損	10,356	4,262
売上債権の増減額(△は増加)	64,538	1,555
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,068	6,186
前払費用の増減額(△は増加)	△3,468	4,079
その他の流動資産の増減額(△は増加)	13,147	8,865
長期前払費用の増減額(△は増加)	△974	△1,915
仕入債務の増減額(△は減少)	△13,687	1,799
未払金の増減額(△は減少)	△74,754	△3,965
未払賞与の増減額(△は減少)	2,695	△1,680
未払費用の増減額(△は減少)	△1,387	△10,204
未払法人税等(外形標準課税)の増減額(△は減少)	1,861	6,251
未払消費税等の増減額(△は減少)	△41,725	10,104
預り金の増減額(△は減少)	△14,010	△573
その他	△2,707	△5,870
小計	434,244	479,089
利息及び配当金の受取額	486	319
利息の支払額	△21,170	△15,460
訴訟和解金の支払額	△29,250	—
法人税等の支払額	△181,367	△19,957
営業活動によるキャッシュ・フロー	202,943	443,990
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△139,861	△206,469
固定資産の除却による支出	△5,455	△745
投資有価証券の取得による支出	△400	—
貸付金の回収による収入	1,120	740
差入保証金の差入による支出	—	△1
差入保証金の回収による収入	61,605	5,851
敷金の差入による支出	△5,143	△35,162
敷金の回収による収入	69,843	24,797
資産除去債務の履行による支出	△3,240	△5,373
投資活動によるキャッシュ・フロー	△21,531	△216,362

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年5月1日 至平成24年10月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年5月1日 至平成25年10月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△165,580	△148,230
社債の発行による収入	294,923	—
社債の償還による支出	△275,000	△45,000
リース債務の返済による支出	△70,021	△83,739
配当金の支払額	△20,321	△30,447
財務活動によるキャッシュ・フロー	△235,999	△307,417
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△54,586	△79,788
現金及び現金同等物の期首残高	2,092,732	2,006,029
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,038,145	1,926,240

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、フードサービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。